

令和7年度



しもよねだ

第9号

令和7年11月28日(金)

地域の力

校長 安藤 由美子

下米田小学校には、毎日多くの地域の方が訪れます。教科の講師、授業の補佐、給食配膳や掃除といった学校生活支援、安全見守り、環境整備など、多くの活動で子ども達を支えてくださる“よなだっ子サポーター”の登録者は、おかげさまで今年ぐんと増えました。

1回目の交流会を開いた時に、みなさんの気持ちを聞いてみました。

＜サポーターとして関わってよかったことは？＞

- ・子どもの様子がわかる。
- ・役に立って嬉しい。
- ・子どもが笑顔で接してくれる。
- ・自分が地域を好きになった。
- ・自分も元気になる。
- ・地域の一体感を感じた。
- ・自分を見つめ直した。
- ・先生といろいろな話ができた。

では、子どもたちはどんな思いでいるのでしょうか。

＜地域の人と一緒に活動して
よかったことは？ 3年生編＞

- ・困った時に すぐ 助けてもらえる。
- ・普段学べないことが学べる。
- ・難しいことができる。わかる。
- ・安全にできる。
- ・地域の人と話せる。仲よくなる。
- ・ほめてもらえる。・安心する。
- ・将来につながる。
- ・先生が大変じゃなくなる。

＜地域の人と一緒に活動して
よかったことは？ 6年生編＞

- ・年齢に関係なく話せて仲よくなれる。
- ・地域の人と新しい何かをつくれる。
- ・学びが広がる。深まる。
- ・学んだことが生活に役立つ。
- ・コミュニケーション力がアップする。
- ・自然に笑顔になれる。
- ・地域がやさしいとわかった。
- ・地域が明るくなる。

低学年では、サポーターの存在に「安心する」と答える児童が多くいました。高学年では、地域の大人と何かを共につくりあげる活動がとにかく楽しくて仕方がないといった声が聞かれました。どちらも学びの広がり、深まりを実感し、それが自分の将来形成に役立つと感じています。関わってくださる地域のみなさんからも、満足感や新たな発見に喜びを感じるという声が寄せられました。同じ子どもを学校と地域の双方の目で見守れるということは、学校職員にとっても大変ありがたいことです。

下米田小学校がめざすのは、「地域の方とともに、誰もが、学んだ喜び・乗り越えた喜び・つながった喜びを味わえる学校」です。地域の方や保護者のみなさんの力により、子ども達は着実に育てられていると感じます。



釘打ち サポーターさんの笑顔に安心